

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第109号 2022年11月18日

和寒小学校農業体験

表紙の説明（19ページ）

- p 2 こんなことが決まりました ～避難支援者の名簿提供へ～
- p 6 一般質問 4議員が登壇
- p 11 新コーナー 追跡！あの一般質問どうなった？
- p 15 決算審査特別委員会Q & A
- p 18 所管事務調査 「地域福祉を考える会」開催
- p 20 町民インタビュー聞かせて ～みんなも一緒に体験しよう！～

避難支援者の名簿提供へ

～支援が必要な方の避難計画を～

9月 定例会

あらまし

条例制定

〔和寒町避難行動要支援者名簿及び個別避難計画に関する条例の制定〕

（全員賛成可決）

災害時に、自ら避難することが困難な障がい者、高齢者、外国人、妊産婦などの避難行動要支援者に対して、名簿や避難計画を作成し、支援者等関係者が、円滑で迅速な避難支援を実施するため、条例の制定を可決しました。

避難支援等関係者とは、土別地方消防事務組合や土別警察署、民生委員、自治会、町長が認める関係者のことです。

個人情報記載されている避難行動要支援者名簿は、平常時に関係者へ

9月定例会議（第3回定例会）は、令和4年9月15日から16日の2日間で開催しました。
15日は、奥山町長の行政報告が述べられたあと、一般質問を行い4人の議員が登壇しました。

提供されるので、支援者は名簿の提供を拒否することができません。

条例改正

〔和寒町リサイクルセンター設置条例の一部改正〕

（全員賛成可決）

令和5年1月1日から可燃ごみ、不燃ごみの一時保管をリサイクルセンターで行うため、業務の増加等により条例の一部改正を可決しました。



〔和寒町議会議員及び和寒町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正〕
（全員賛成可決）
選挙運動の公費負担限度額を左表にする条例の一部改正を可決しました。

選挙運動用自動車の使用の公営に要する経費に係る限度額のうち、自動車の借入れ及び燃料の供給に関する契約である場合の限度額

契約方式	改正後
一般運送契約	自動車の借入れ 16,100円/日
以外の契約	燃料の供給に関する契約 7,700円/日

選挙運動用ビラの作成の公営に要する経費に係る限度額

選挙種別	改正後
町長選挙、町議会議員選挙	7円73銭/枚

選挙運動用ポスターの作成の公営に要する経費に係る限度額

改正後
$541.31円 \times \text{ポスター掲示場数} + 105,723円$ ポスター掲示場数



その後、条例の制定・改正等の審議等が行われました。
16日は補正予算等の他、意見書2本が可決されました。

物価高騰
対策を

補正予算

今回の定例会で左表の補正予算を可決しました。
(5名賛成可決)

〔介護サービス事業所
応援事業〕

原油価格や物価高騰で、燃料や食料費等の価格上昇分の一部を支援するため、1事業者10万円、

30万円の増額補正を可決しました。

〔原油価格・物価高騰等支援事業〕

原油価格や物価高騰で経営に大きな影響を受けている町内の農業を営む者、商工業事業者等に1事業者10万円を支援するため、3200万円の増額補正を可決しました。

〔高齢者等除雪費用支援事業〕

事業内容が一部改正され、判断基準が前年度収入から住民税非課税世

(※ 1万円未満切捨て表記)

一般会計	補正額	補正前の額	補正後の額
議会費	3744万円	46億3874万円	46億7618万円
総務費	88万円	費用弁償	
民生費	4677万円	介護サービス事業所応援金、原油価格・物価高騰等支援事業交付金ほか	
衛生費	△35万円	除雪支援事業補助・委託、会計年度任用職員各種手当ほか	
衛生費	△1188万円	国民健康保険特別会計(診療所施設勘定)繰出金、公共下水道事業特別会計繰出金	
農林業費	143万円	農業委員会備品、持続的畑作生産体系確立緊急対策事業補助ほか	
土木費	10万円	光熱水費	
給与費	48万円	職員各種手当	
国民健康保険(保険事業勘定)	16万円	5億2280万円	5億2296万円
国民健康保険(診療施設勘定)	13万円	2億4254万円	2億4267万円
公共下水道事業	29万円	2億779万円	2億808万円
介護保険	4093万円	5億6972万円	6億1065万円

帯、除雪範囲は住んでいる家屋がある敷地内となり、それに伴い補助率も変更しました。

また、今まで町から業者を支払っていた除雪費を利用者が支払い、町に申請することで、補助金を受けられるための補正を可決しました。

委員会付託

令和3年度和寒町各会計歳入歳出決算について、決算審査特別委員会を設置し、付託のうえ閉会中に審査することとしました。

報告

〔令和3年度和寒町一般会計及び特別会計歳入歳出決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について〕

和寒町の財産状況は健全である旨の報告がありました。

一般会計補正予算
討論

反対

酒向 勤議員

高齢者等除雪費用支援事業については、激変緩和を5年間実施するといったも、今後、除雪支援を受けたいと思う方の支払いや申請に関して、負担が増える。

また、議案審議については早い時期に提案することが必要ではなかったのか。他の補正予算は否定しないが、本支援事業を含んでいるために反対する。

賛成

中原 浩一議員

高齢者等除雪費用支援事業については、対象外になる方の配慮が必要だと思つた。

また、支払いの面も対象者は非常に厳しい生活を強いられているので、配慮していただきたい。この事業も以前から問題になっていたもので、解決していただくことをお願いして賛成する。

人事

【教育委員会委員の選任】（全員賛成同意）

佐々木きよみ氏（南丘）を任命することに同意しました。

佐々木氏は平成30年10月から任命され、今回で2期目になります。

（任期4年）



▲佐々木きよみ氏

【固定資産評価審査委員会委員の選任について】（全員賛成同意）

藤井利博氏（三和）を選任することに同意しました。

藤井氏は令和元年10月から選任され、今回で2期目になります。

（任期3年）



▲藤井利博氏

意見書

【国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書】

【道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書】

提出者 中原浩一議員

（全員賛成可決）

詳細はQRコード又は和寒町ホームページの議会事務局をご覧ください。



8月12日開催

第3回町議会臨時会

工事請負

【工事請負契約の締結について】

（全員賛成可決）

令和4年度和寒下水終末処理場電気設備改修工事請負業者を北海道三菱電機販売株式会社と締結し、契約金額7920万円で可決しました。

8月25日開催

第4回町議会臨時会

補正予算

【令和4年度和寒町一般会計補正予算】

（全員賛成可決）

和寒町名誉町民、元和寒町長の故藤井辰夫氏の町葬実施のため、総額で299万1千円の増額補正を可決しました。

10月13日開催

第5回町議会臨時会

表彰

（全員賛成可決）

功労章

○浜田 義昭様（西町）

功労表彰

○故下條美恵様（中和）

○茶円 宥正様（西町）

○兼丸 幸二様（東丘）

善行表彰

○浜田 義昭様（西町）

○渡邊 道子様（南町）

○藤井 利博様（三和）



専決処分

【新型コロナウイルス株対応ワクチン接種】

（全員賛成可決）

10月から新型コロナウイルス株対応ワクチン接種を開始するため、9月26日に行った1331万5千円の増額補正を承認しました。



補正予算

原油価格や物価高騰の影響による事業など、総額4603万円の増額補正を可決しました。

（全員賛成可決）

【電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業】

令和4年度分の町村民税均等割が非課税の世帯などに、1世帯あたり5万円を支給するために2853万円の増額補正を可決しました。

【高齢者世帯等生活支援事業】

低所得の高齢者や障がい者世帯へ、対象世帯1世帯あたり1万円を支給するため、450万円の増額補正を可決しました。

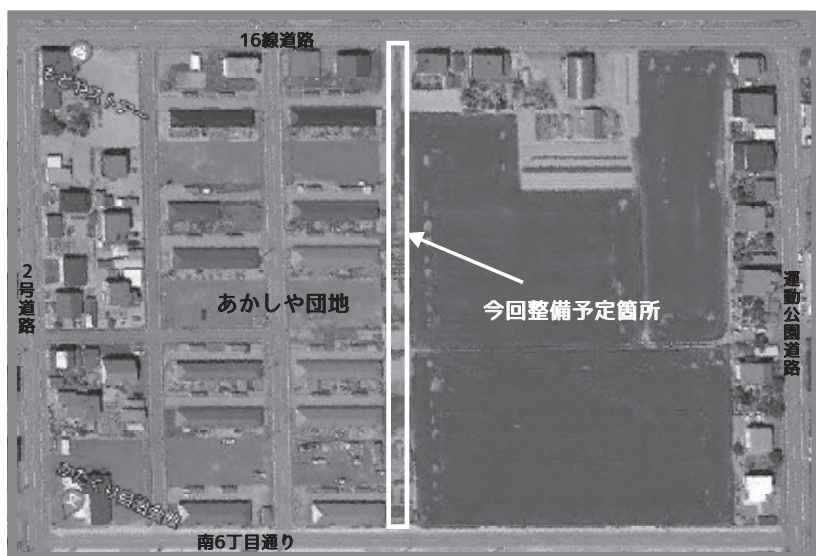
【冬季子育て世帯生活支援事業】

子育て世帯へ、高校生までの児童1人あたり2万円の支給をするため、750万円の増額補正を

可決しました。

【公営住宅団地内道路実施設計業務委託】

あかしや団地の用地内で東側の住宅と民地との間に16線道路から南6丁目通りまでの延長約175メートル、幅員約8メートルの実施設計業務のため、550万円の増額補正を可決しました。



▲かたくり自治会「あかしや団地」内道路整備

主な質疑

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

問 交付金残金1458万円の使い道は。

答 農業者の肥料や燃料高騰対策に交付金を使えるように考える。

問 トイレの水洗化に、この交付金は使えるのか。

答 コロナの感染予防対策が見込める理由付けが出来れば可能。

問 来年度、国から交付金が出る予定は。

答 国の方針が決定されてから額が決まるので、まだ分からない。

今年の9月に国の準備費から2300万円が入ってきた。

公営住宅団地内道路実施設計業務委託

問 最後に町道を作ったのは。

答 総合計画にこの事業は載っていないが。

問 平成29年度に行った日ノ出5番地の国道連絡道路が最後。交付金に依りて、説明しながら総合計画に入れていく。

～あなたの声をお聞かせください～

議会広報委員会では、議会を傍聴した感想や議会だよりワットサムについてのご意見などを募集しています。

傍聴受付の横に設置している用紙に、ご記入いただきますようご協力をお願いいたします。

町政を 問う。

一般質問

和寒町では1人につき60分の制限時間が設けられ、質問の回数は無制限で行われます。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関（町長・教育長）に疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。
※紙面の都合上、概略のみ掲載しています。

質問議員	質 問 事 項	ページ数
小野田久美子 議員	①安全安心な教育環境への対応は ②子育て世帯に配慮した支援対策は	7 ページ
池澤哲也 議員	①持続可能な農業政策は ②防災対策の現状と課題は	8 ページ
村岡敏一 議員	①森林資源管理と活用は	9 ページ
酒向 勤 議員	①本町人口減の要因は ②妊産婦や子育て世代への支援策は	10ページ

小野田久美子議員



問 安全安心な教育環境への対応は 答 冷房設置は動向も見ながら検討

問 子育て世帯に配慮した支援対策は 答 国の事業に係る対象者の拡充は見送る

安全安心な教育環境への対応は

①冷房設置の判断は。
②危険な通学路である、国道40号線日の出の歩道と横断歩道設置に関して、その後の経過は。

③小中学校の遊具、設備の点検はどのように実施しているのか。

④中学校の修学旅行受け入れ先を、安全性を考えて国内に変更しては。

水澤教育長

①今年は、夏期休業期間を25日間から30日間に延長した。

温暖化による気候の変動には、今後とも留意する必要がある、道教育庁でも、学校への冷房設置は課題となっているので、動向も見ながら検討していきたい。

②町では、国道に注意喚起を促す標識を設置し、開発局土別道路事務所でも、国道の両側に同様の標識を設置した。

土別道路事務所では、歩道設置について予算付けに取り組んでおり、町としても早期



▲和寒小学校にある遊具

改善に向けて働きかける。

③本町の小中学校では、安全教育の指導計画に基づき、きめ細やかな指導や安全点検などを実施している。

次年度、小学校の遊具を改修して10年が経過するので、独自に専門業者による安全点検を計画している。

④現在、新型コロナウイルスの影響などにより、台湾への渡航は極めて難しいので、実施を見合わせている

台湾入国後3日間の隔離がある、感染拡大が収まり制限が解除されること、また国際問題もあり、当面は修学旅行先として難しいと判断している。

次年度も修学旅行先を道南方面で行うことを保護者へお知らせした。

子育て世帯に配慮した支援対策は

新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻、円安で、エネルギーや食料などが値上がりし、生活に悪影響を及ぼしている。

国と道の子育て世帯生活支援特別給付金事業で、対象外となっている子育て世帯の子どもにも、町単独で給付金支給を実施しては。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止や衛生面の問題、保護者の負担軽減を考慮し、保育所で使用済みおむつを処分しては。

奥山町長

町では、保育料無償化や高校生までの子ども医療費無料化、全町民対象のお買い物クーポンやプレミアム付き応援券発行などの生活支援に取り組んでいるので、国の事業に係る対象者の拡充について見

送った。

保育所では、保護者の理解の上、使用済みおむつを各家庭に持ち帰っていただいており、大量の使用済みおむつの保管場所を保育所内に確保することが困難であることや、保護者に児童の排泄状況や使用したおむつの量を把握し、健康状態も確認していただくことを目的としている。

予定している一般ごみの有料化で、新生児から3歳までを対象に、毎月20リットルの袋5枚を対象児童のいる世帯に配布するので、ご理解いただきたい。



問 持続可能な農業政策は

答 肥料・飼料の高騰は町も対応策を検討

問 防災対策の現状と課題は

答 地域全体で避難支援の整備に取り組む

池澤哲也議員



持続可能な農業政策は

① 飼料・肥料含む農業資材及び燃油価格高騰による、本町における農業者経営への影響がどれくらいあるのか。

また、今回提案する補正予算の地方創生臨時交付金を活用した対策内容は。

② 現状と将来を見据えた持続可能な農業政策は。

奥山町長

① 町内農業経営における影響として、購入実績などを用いた影響額は肥料では昨年6月から5月までの1年間で、1億98339万円、配合飼料は1728万円、免税軽油は992万円となり、合わせると2億2600万円と試算した。

また、今回の補正予算に係る対策は、物価高騰対策として、農業者、中小企業者、個人事業主などを対象に、昨年11月以降に購入した燃料、原材料、資材等の単価が令和2年11月から令和3年10月までのいずれかの月に購入した単価より増加していることを交

付要件として、1事業者あたり一律10万円の支援金を交付するもの。

② 本町は、環境保全型農業直接支払交付金の活用により、化学肥料や化学合成農薬の原則5割低減を積極的に実施している地域であり、今後も肥料コストの低減に向け関係者と継続した連携が求められている。併せて土壌診断による

適正施肥の取組も重要となるため、農業者には活性化センターの土壌診断をより有効に活用していただきたい。

町としては国が進める、みどり戦略やSDGsの観点から、これまで以上に持続可能な農業が実現されるよう関係機関と連携して進める。

○再質問

肥料、飼料の高騰は個人の農業経営を大きく圧迫しており、国の肥料高騰対策や一律10万円の支援金だけでなく、更なる追加支援が必要ではないか。

奥山町長

国の動きもあるが、町としても別に考えなければならぬと思っています。

情報収集しながら関係機関と連携して対応策を検討する。



防災対策の現状と課題は

① 防災対策の現状と課題は。

② 災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者名簿と個別避難計画の作成が求められ、今回条例制定が予定されているが、本町で災害が発生した場合に要支援者名簿の活用及び要支援者の避難体制の整備は。

奥山町長

① 災害対策基本法の改正や国の防災基本計画の改正などを受け、和寒町地域防災計画を本年3月に改正した。

近年、本町において大きな災害の発生はないが、若手職員などは災害対応の経験が少ないことから、7月に防災の基本や災害時の必要な行動などの座学を実施。

9月には、町内の災害が起きやすい箇所の現地視察など実地研修に取り組んでいる。

また、自治会の防災担当者との意見交換会を開催して、情報共有を図っている。

今後も定期的な意見交換の場を設けながら、防災対策の推進に努める。

② 要支援者名簿の活用と避難体制の整備は、自治会や民生委員、消防機関や警察など支援関係者との情報共有を図り、個別避難計画の作成や実践など、災害時の円滑かつ迅速な避難支援に結びつくよう地域全体で取り組む。

村岡敏一議員



問 森林資源管理と活用は

答 森林環境譲与税と資源の有効活用に努める

森林資源管理と活用は

本年、第1回定例会で町長は、和寒町ゼロカーボンシティ宣言を表明した。

本町の全面積の内、65%を占めている森林面積は、二酸化炭素吸収資源として大きな役割を今日まで果たしている。

あらゆる資源が国産化へと関心が寄せられている中、エネルギーや脱炭素資源としての森林整備に対し、森林環境譲与税をどのように活用していくのか。

奥山町長

森林は、地球温暖化防止といった公益的機能に加えて国土や水源の保全など、適切な管理が求められている一方で、所有者や境界がわからない森林の増加や担い手不足が大きな課題であった。

このため、平成31年3月に「森林環境譲与税」が創設され、経費の財源充当のため「森林環境譲与税基金条例」を制定した。

当税の目的に沿いながら、



▲植樹祭のようす

下刈・殺鼠剤・根踏み・間伐の森林環境整備事業等に活用している。

森林施策推進はゼロカーボンの実現を図る上でも重要と位置付け、森林環境譲与税と森林資源の有効活用を努める。

○再質問

森林から伐採までの経費負担が所有者には大きいいため、適切な管理がされていないのが現状。

森林所有者の整備意欲を高めるためにも、取り組み強化を図っては。

産業振興課長

既存の事業として、除間伐に対する1/2を助成している。

上限価格は、各事業体と相談しながら設定している。

○再質問

6月に見送られた夫婦岩連絡道路整備工事は、一部環境譲与税を充当していたが、そもそも適切だったのか。

産業振興課長

森林整備以外にも木育、森林レクリエーションといった森林に役立つ活動も対象となるため適切と考える。

○再質問

次年度もこの整備工事は森林環境税で活用し提案されるのか。

奥山町長

夫婦岩に限らず、塩狩周辺整備全体として検討委員会で議論いただき、後の方向性を詰めていきたい。

○再質問

本町のバイオマス燃料製造施設の動向として、熱源供給施設の拡大は考えているのか。また、ゼロカーボンシティ宣言をしているので、再度検討し直す考えは。

奥山町長

以前調査の中で小型ボイラーの導入を検討したが、コスト的な部分で当面見送るという話をした。

今後、ゼロではなく、将来を見据えた中で、検討の余地は残していかなければならない。



▲夫婦岩を目指して道を進むフットパスの参加者

問 本町人口減の要因は

答 転出による社会減の影響が多い

問 妊産婦や子育て世代への支援策は

答 充実していることを上手にPRしていく



酒向 勤議員



高齢者の転出も増えていることがその要因に

国が8月に発表した人口動態調査によると、本町は自然減77人、社会減では外国人を含む48人が減少した。

その中で、転出者は130人だったが、その要因は。

奥山町長

上川管内の旭川市に隣接している自治体では、社会減の幅が小さく、一部の自治体で社会増となっている実態があり、旭川市が地方都市として人口ダムの役割を果たしている。

本町の人口減少対策は、「和寒町まち・ひと・しごと創生総合戦略」で将来展望を掲げ、現在2期目を取り組んでいる。

令和6年度の目標3100人に対して、本年8月時点で3041人まで減少した。

全国の町村にあつては約88%の自治体で減少している中、この流れを一気に、くい止める事は極めて難しい状況にある。

○再質問

病院が診療所化したから転出した、と言う急激な変化が落ち着き、「さあこれからどうしよう」と考えた時、健康なうちに離町される方が見受けられる。

長く住んで良かった、住み続けたい町、と町長の言う所から外れているのでは。

奥山町長

住み続けたい、住み続けて良かったというのは、行政のサービスだけではないと思っている。

サロンなど、行政と住民の間にどのような仕組みが必要か議論してきたが、本町の課題である特養「芳生苑」の建て替えを、まちづくりの起爆剤にするなど、町民に喜んでいただける形にして、人のつながりができる場所を考え合わせて行くタイミングに来ていると思っている。

妊産婦や子育て世代が住みよいまちは

上川管内で、唯一東川町の

人口が増えており、妊産婦や子育て世代への支援が細やかに実施されているが、本町の場合は。

奥山町長

総合戦略において、結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境を作る事を基本目標に掲げている。

検診などの他、令和2年から保健師と、こども館の職員が連携し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供している。

また、高校生まで医療費の無償化など行っている。

自治体の事情にもよるが、本町はかなりやっており、これからも良い環境を作ってきたい。

高齢者や障がい者に優しいこれからのまちづくりは

バリアフリーなどひと段落したようだが、一歩進める雇用の創出も必要では。

奥山町長

障がい者でも町内で集えた

り、就労出来たりするのが望ましい。

毎年、他町の施設を訪問し、障がい者が地域で生活したり、就労をサポートする人員が足らずに困っている状況であると伺っている。

芳生苑の建て替えでは、子どもから高齢者まで、誰でも集える環境を作る事を考えている。

和寒町の魅力を最大限に出せるような建物、エリアを柔軟に考える必要があると受け止めている。

他にも塩狩峠記念館や子ども国の障がい者割引を求めました。



▲塩狩峠記念館のチケット

追跡! あ的一般質問 どうなった?



第102号から第105号までの1年間の議会だよりに掲載された一般質問が、町政にどう反映されているのか、その後どうなったか追跡しました。

衛生



下條 美恵 議員
2021年11月発行
ワットサム第105号に掲載

問 公共施設に生理用品設置を

コロナ禍で経済的に困窮する女性を支援するため、生理用品の無償配布や公共施設のトイレに生理用品を設置しては。学校トイレの個室に生理用品を設置しては。

答 防災備品として保有

防災の備蓄品として保有することを検討する。生理の事を口に出せない、保健室まで取りに行けないなど困っている児童生徒への配慮も必要と考えている。

追跡!

思ったことを 伝えられるように

今年、防災の備蓄品として長期保管のできる生理用品を発注済み。保健室での養護の先生による生理に関する指導は、小学生1名、中学生7～8名。



衛生



中原 浩一 議員
2021年8月発行
ワットサム第104号に掲載

問 災害対策基本法等の一部改正での対応は

令和2年5月20日施行の災害対策基本法の一部改正で、災害時の移動に支援が必要な方の個別避難計画書作成、避難行動要支援者名簿の作成が必要では。

答 防災無線で周知、名簿の情報共有を検討

地域防災計画の定める避難行動要支援者名簿の作成が努力義務になったことから、情報共有のあり方を整理し、どう活用するか検討。

追跡!

町民・対象者への 周知や理解を

個別避難計画の作成と避難行動要支援者名簿には既存の要支援者に加え、乳幼児・妊婦・慢性疾患のある人等も追加された計画の作成、対象者の理解と名簿の作成、関係者への提供に関する必要な事項を定めた条例の制定を9月の議会定例会で可決した。





建設



小野田久美子 議員
2021年5月発行
ワットサム第103号に掲載

問 市街地にある公園の維持管理は

市街地にもキツネがいて、子どもがエキノコックスに感染する危険もある。砂場の衛生管理ができていないのでは。

答 自治会と打合せをする

自治会と打ち合わせをし、汚染対策などの意見を参考にして、最終的には使用不可も視野に入れながら検討する必要があると思う。

追跡!

自治会と相談後、 砂場を撤去



▲砂場を撤去した中央公園

福祉



窪田 裕二 議員
2021年5月発行
ワットサム第103号に掲載

問 高校生の医療費負担は

行政報告で、高校生の医療費負担の話があったが、どのような考えか。

答 見直す必要がある

今後の財政を考えると見直す必要がある。高校生の医療費負担の話は、通学補助を削って充てるなどの考えもある。

追跡!

医療費拡充・ 通学費は変更なし

今年6月、第2回定例会の政策予算、わっさお健やかこども医療費助成で、「中学生まで」を「高校生まで」に拡充した。

高校生の通学費補助は、今年も変更なく実施した。

商工



酒向 勤 議員
2021年5月発行
ワットサム第103号に掲載

問 商店街の振興は

コロナ対策として本町でも、つなぎ融資制度の創設、飲食店や宿泊事業者への緊急支援を実施したが今後は。

答 商店街に呼び込む環境を

町内経済の環境が依然として厳しい状況にあるので、今後も、国や北海道の動向を注視しながら支援に努めたい。

追跡!

経営継続緊急 支援事業を実施

コロナ対策として町民の消費拡大を図るため「お買い物クーポン発行事業」やプレミアム率40%の「和寒元気! プレミアム応援券発行事業」を実施するとともに、中小企業や個人事業主に対する「経営継続緊急支援事業」によって支援した。

農林



石田 利美 議員
2021年11月発行
ワットサム第105号に掲載

問 干ばつの農業支援は

令和3年は、記録的な干ばつで農作物全般に影響があった。肥料・種子代などの補助を検討し実施すべきではないか。

答 収穫量・市場単価を注視し検討

町としては、今後の収穫量や市場単価等の動向を注視して必要な対策を検討していく。

追跡!

被害支援利子補給を実施

令和3年11月29日に北ひびき農協より1市2町に要請書の提出があり、令和3年度高温干ばつ等被害支援利子補給事業を実施した。

まちづくり



池澤 哲也 議員
2021年 8月発行
ワットサム第104号に掲載

問 人口減少の歯止め対策は

若者や若い夫婦の新規就農や移住定住対策の強化を図っていくべきでは。

答 新規就農者を呼び込める環境作りを検討

新規就農の対策は必要と考えている。活性化センターの活用や後継者、新規就農者を呼び込める環境作りを検討したい。

追跡!

新規就農者の 受入れ態勢を

定住促進対策の一環として実施してきた農村生活体験事業の実施を見送り、地域おこし協力隊を活用した、「新規就農者育成・確保事業」を実施して、新規就農者の受入体制を整備する。





観光



村岡 敏一 議員
2021年11月
ワットサム第105号に掲載

問 観光資源の位置づけは

和寒町の観光資源をどのように位置付けていくのか。

答 各自治体の協力も

和寒以北の玄関口として位置付け、JRを使っていたく事も考慮しながら上川北部に人流の導線が必要と考える。

追跡!

特産品も観光資源に

各種観光施設やイベントのみならず、本町の特産品の南瓜やキャベツなども食としての観光資源と位置付けながら、関係機関で構成するフードツーリズム推進協議会において各種物産展の実施や、特産品での商品開発など企業連携によって、本町のPRを実施していく。

福祉



谷口 勝弘 議員
2021年11月
ワットサム第105号に掲載

問 住み続けられるまちの形は

高齢になっても住み続けられる町の形をいかに作っていくのか。

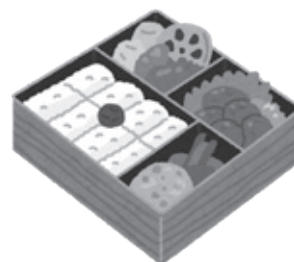
答 食事支援から試みる

令和3年度から高齢者向けの食事宅配モデル事業に取り組んだ。令和3年度4月から開始し、令和4年2月で終了した。

追跡!

総合的支援を継続検討

検証結果として、町内調理事業者の負担増や原材料価格の高騰による単価の増加、配達人員の確保などの課題が浮き彫りになった。



議会動画



町民に開かれた議会を目指し、議会からの情報発信、情報公開等を積極的に行うため、一般質問の動画を配信しています。

和寒町議会ホームページから閲覧することができます。

<https://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>
お問合せ: gikai@town.wassamu.lg.jp

閲覧統計

令和4年6月定例会

一般質問	3人
総再生回数	141回
総再生時間	14.7時間



魅力あるまちづくりを

令和3年度の一般会計、5特別会計の決算は、令和4年10月11日～12日の2日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く7名で構成された決算審査特別委員会（酒向委員長・谷口副委員長）で慎重に審議されました。

町民の生活に直接関係する事業の決算だけに、委員各位から活発な質疑があり、会計ごとに討論を行い、採決の結果、各会計とも賛成多数で認定すべきものと決定しました。

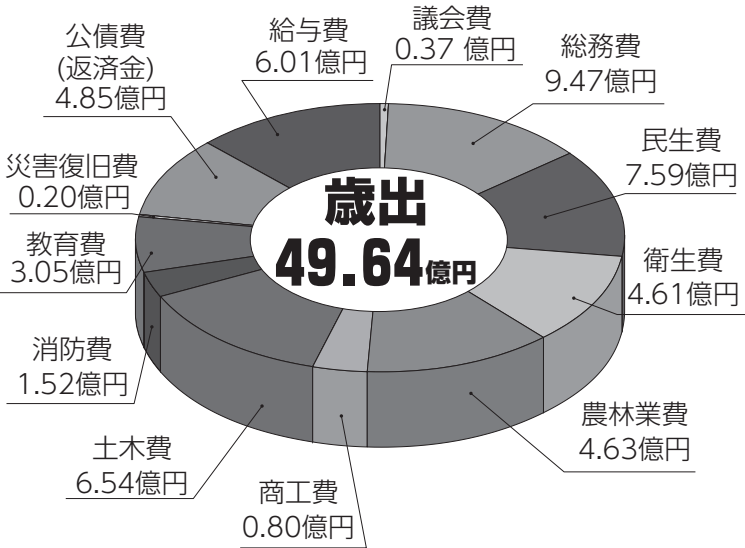
令和3年度各会計決算状況

※1万円未満切り捨て表記

会計別		予算額	収入額	支出額	差引残額
一般会計		53億2510万円	51億6161万円	49億6429万円	1億9731万円
国民健康保険特別会計	保険事業勘定	5億3996万円	5億759万円	4億9881万円	878万円
	診療施設勘定	2億4108万円	2億4595万円	2億3410万円	1184万円
簡易水道事業特別会計		1億6774万円	1億6734万円	1億6407万円	326万円
公共下水道事業特別会計		2億2615万円	1億865万円	1億582万円	283万円
後期高齢者医療特別会計		6744万円	6735万円	6718万円	17万円
介護保険特別会計	保険事業勘定	5億7695万円	5億9994万円	5億4831万円	5162万円
	介護サービス事業勘定	1億3650万円	1億3676万円	1億3611万円	65万円
合計		72億8094万円	69億9522万円	67億1872万円	2億7649万円

一般会計

町民1人あたり約161万円



議会費	1万2165円	0.75%
総務費	30万8916円	19.08%
民生費	24万7437円	15.28%
衛生費	15万0219円	9.28%
農林業費	15万0968円	9.32%
商工費	2万6157円	1.62%
土木費	21万3455円	13.18%
消防費	4万9692円	3.07%
教育費	9万9349円	6.14%
災害復旧費	6579円	0.41%
公債費	15万8241円	9.77%
諸支出金	0円	0.00%
給与費	19万5965円	12.10%

にれっこ健診で脂質異常

にれっこ健診

Q 過去5年間の実績で分かったことは。

A 脂質が異常値として出ている。

ジュースやお菓子の飲食の仕方、悪玉コレステロールや中性脂肪が高いと思われる。

保護者の食生活が、子どもに影響しているので、声掛けをしている。



マイナンバーカード

Q 交付人数と交付率を上げる取り組みは。

A 令和3年は1167枚で交付率37%。

令和4年9月は1391人で44%。

広報誌、防災無線、ポスター掲示やゴミ分別の説明会でもお知らせしている。

職員のキャリアアップ

Q 女性の課長がいないが、男女の比率を考えて対策としては。

A 女性職員の育て方を意識して、適材適所で対応できるよう努める。

障がい者地域生活支援

Q 今後、地域共生型施設をどのように考えていくのか。

A 障がい者の受け入れは剣淵町や土別市で対応していただいている。

この町に出来て良かったと思うていただける施設を作っていく。

不法投棄ごみ

Q 令和3年度、不法投棄はあったのか。

A 大きなごみは無かったが、生活ごみが3件あった。

パトロールの他、のぼりの掲揚をして注意喚起している。

稲わらの焼却

Q 町に稲わらの焼却について、苦情は入って

いるか。

A 焼却していない農業者から苦情は来ている。

風向きによっては、煙が芳生苑にも入ってくる。

Q 肥料が高騰している

ため、町で稲わらや生ごみ、下水処理で出る汚泥を活用して循環する仕組みが必要では。

A 今年、ゼロカーボン

シティ宣言をしたので、いろんな形で考えていきたい。

道路愛護・河川愛護 草刈り

Q 昨年に比べて、道路愛護や河川愛護で草刈りをしている団体等が減っているが、対策は。

A やむを得ない理由で作業が出来なくなった団体等と相談し、町で

有害鳥獣被害対策

管理していく。

Q 飼料高騰の影響で、国内ではコーン栽培が進んでおり、熊の被害が出ている。

熊が民家の横を通ることもあり、人命に関わる。

国の事業を勉強しながら、令和5年度の予算で電柵の補助をしては。

A 様々な課題を念頭に進めていきたい。



学校の冷房設置は

学校のエアコン・夏休み

Q 道内、他の地域の学校でもエアコンの設置が増えているが、本町の学校には。

A 今年度に入って設置率が増えている。今後検討していく。

Q 保護者から夏休みの終わりをお盆少し過ぎでからにしては、という要望があるが、検討は。

A 今年の反省を活かして、来年に向けて意見交換している。

タブレット

Q 学校で生徒が使用しているタブレットに破損があったか。また、今後対応は。

A 小中学校合わせて4台の破損があり、代替え機で対応している。いずれも故意に壊したことはないのですが、負担している。今後、ガイドラインや貸出の申請書の文言の整理をしていく。



マンホールの管理

Q マンホールのフタの耐久年数は。

A 車道にあるフタは15年、その他は30年。検査、管理など適切に実施していく。

地域おこし協力隊

Q 協力隊のうち1名が来年任期を終了するが、その後の予定と支援は。

A 今後とも和寒町に住んで事業を継続される予定。現在活動されている建物、備品も含めて賃貸契約し、引き続き支援していきたい。

フードツーリズム

Q どのように農業者と提携しているのか。

A 商工会、JA、キャ

ベツ部会、カボチャ部会などと連携している。

東京の百貨店「高島屋」では、和寒町産のかぼちゃが1玉750円で売っていた。

観光案内所

Q 案内所の場所が分かりづらいため、何か考えは。

A 今後、検討していく。

塩狩駅

Q 観光目的として存続させる必要があるのか。

A 多くの方に理解していただくために、しっかりと対応していきたい。

観光の広告

Q 観光の広告費の主なものは。

A フリーペーパー、羽田空港、SNS上川地区ロードマップ。

Q 羽田空港でのポスターの掲示期間は。

A 1か月ぐらい。羽田空港の社長が来町された。人のつながりを大切にしたい。



▲羽田空港に掲示されたポスター

医療及び福祉施設等調査特別委員会



医療及び福祉施設等調査特別委員会主催の「地域福祉を考える研修会」を9月12日に町民センターで開催しました。

研修会には、町議会議員、奥山町長や町担当職員、社会福祉協議会の瓜会長と理事、職員が参加しました。

7月7日に町議会議員が視察した際、社会福祉法人ゆつゆつの大原理事長から地域の課題の整理・施設を支え合う仕組み・行政に頼らない経営の話があり、感銘を受けたので、和寒町の将来あるべき福祉施設の展望などについて、大原理事

長を招き、講話いただきました。

大原理事長は、「行政や社会福祉協議会だけで問題を解決するのは困難。課題を見出し、住民が興味を示し、みんなで支え合う仕組みの構築が必要。」

「単に高齢者のためではなく、多角的に係わり、地域のインフラになるような施設が、これからのあり方。」

「福祉施設に巨額費用を掛けるなら、町民みんなが、これができて良かったと思えるような施設でなければいけない」とのお話がありました。

町議会としては、これらの福祉行政や施設のあり方、異業種との混在による地域密着型の施設を目指し、今後も社会福祉法人ゆつゆつの大原理事長からノウハウを学んでいきたいと思っています。

下條美恵議員
ご逝去

本町初の女性町議会議員で、平成23年4月に初当選し、3期11年5ヶ月に渡りご活躍されました。

昨年5月から総務福祉常任委員長として、再発したがんの治療を受けながらも職責を果たされていました。

今年8月入院時、復帰し任期を全うしたいと強く希望されていたましたが、8月28日に60歳でご逝去されました。

謹んで心からご冥福をお祈りいたします。

委員会構成が変わりました

下條美恵議員ご逝去に伴い、委員会構成を変更しました。
議員定数は10に対して、欠員1となります。

総務福祉常任委員会

委員長 酒向 勤
副委員長 小野田 久美子

委員 中 原 浩一
委員 石 田 利 美
委員 村 岡 敏 一

産業教育常任委員会

委員長 谷 口 勝 弘
副委員長 窪 田 裕 二

委員 中 原 浩 一
委員 酒 向 勤 也
委員 池 澤 哲 也

議会運営委員会

委員長 石 田 利 美
副委員長 窪 田 裕 二

委員 中 原 浩 一
委員 酒 向 勤 也
委員 谷 口 勝 弘

議会広報委員会

委員長 小野田 久美子
副委員長 谷 口 勝 弘

委員 窪 田 裕 二
委員 村 岡 敏 一
委員 池 澤 哲 也

議会選出監査委員

窪 田 裕 二

Topic 議会

ゼロカーボン講演会



7月26日、幌加内町で行われた3町合同ゼロカーボン講演会に参加しました。

北海道環境生活部ゼロカーボン推進監の今井太志氏による「ゼロカーボン北海道について」では、脱炭素に向けた国内外の状況や取り組み、未来などについて講演を受けました。

本町では、今年3月にゼロカーボンシティ宣言をしており、今後の取り組みに役立つ情報を得ることができました。

農作物生育状況調査

8月31日、町内三和と菊野の圃場で、上川農業改良普及センター土別支所による農作物の生育状況の説明を受けました。

今年は天候に恵まれ各農作物の生育は、概ね順調であるとの事です。



3町議員研修会



10月6日、剣淵町で、幌加内、和寒町3町の議会議員研修会に参加しました。

北海道町村議会議長会事務局次長 永井輝之氏による「求められる議会・議員活動」では、議員活動、議会運営の基本や定例会での一般質問、求められる議会についての講演がありました。

表紙の説明

「和寒小学校 農業体験」

今回の表紙は、9月26日に行われた、和寒小学校5年生による稲刈り体験の様子です。

中和地区、西川直哉さんの水田で春に自分たちで田植えをした稲の刈り取りを行いました。



西川さんから作業の説明を聞き、ノコギリ刃のついたカマで一株ずつ手作業で刈り取りをしました。

刈り取った稲は、しっかりと乾燥させてから、後日自分たちで脱穀・粃すりをして試食する予定とのことでした。



9月30日、和寒町柔道スポーツ少年団（会長・福井教之さん）の皆さんに、総合体育館でお話を聞かせていただきました。



柔道スポーツ少年団の始まりと団員数は？

和寒町での柔道の始まりは昭和21年で、昭和25年に柔道会を設立し昭和48年に少年団を結成しました。

現在の団員数は中学生5名、小学生7名、幼児3名の15名です。

活動内容は？

年間を通じて毎週火曜日と金曜日19時より、総合体育館2階で練習をしています。

また、旭川龍谷高校へ出向き、出稽古なる遠征も行っておりましたが、コロナ禍によりこの3年間は中止しております。

年間の大会数は？

個人戦・団体戦含めて年間5、6回あります。これからの大会では10月15日は中学生の新人戦、10月30日には土別地区防犯柔道大会があります。

今後の目標は？

（団員）大会では勝つことが目標。（梅本君）今回、中体連全国大会に出場できました。

来年度は高校生として、もっと強くなつて全国大会に出場して、いい成績を残したいです。（指導者）来年度は中学3年生の3人全員が各階級で全国大会出場を目指します。

団員の確保は？

団員募集として、公共施設でのポスター掲示や保護者等を通じて練習体



験を呼びかけておりま
す。
ぜひ体験に来てくださ
い。

和寒町への要望は？

町外における各大会出場時の費用支援が必要で
す。

現在、監督と選手の分
は支援いただいております
が、保護者の分も検討
いただきたいと思います。

また、当番制で町内開
催される大きな大会の準備等でお手伝いが少ない
事があるため、人的支援
も検討いただきたいで
す。



広報委員の一言

「才能光る人材を！」
「令和になつてからいいこと無いなあ」という言葉も定着してきた感じがあります。今年も大谷翔平選手の活躍しか、明るいニュースはなかったかも・・・と考えていると、11月になつてからサッカーワールドカップがあるようです。しかし、サッカー人気が世界的に低迷中、原因は、戦術が洗練されすぎて、素人にはよさがわかりにくいとか、CR7やメッシくらいしか、人を呼べる選手がいらないとかのようです。

やはり、どんな分野でも光り輝く、突出した才能がある人材が必要なのな気がしますね。

今年のワットサムも、この109号で最終号です。

来シーズンのファイターズは、どんな活躍を見せてくれるのか、期待しながら冬を乗り切りましょう。（勝弘）